



第 113 回広島がん治療研究会 プログラム

日時:令和元年 8 月 24 日(土)午後 1 時より
場所:広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 3 号 広島県医師会館

1. 口演および討論時間

- ・セミナー (201 会議室) 口演時間 45 分(質疑応答を含む)
- ・一般演題 (201 会議室) 口演時間 4 分 討論 2 分(時間厳守)

2. 口演発表の方へ

- ・PC プレゼンテーションのみで、液晶プロジェクターのみをご用意します。
- ・会場には OS:Windows10、Microsoft Powerpoint2016 インストール済みのノートパソコンをご用意致します。ファイルのみお持ちいただく場合は、USB メモリでお願いします。Macintosh をお使いの方は、ご自身のパソコンにてプレゼンテーションを行ってください。MiniD-sub15 ピンに対応したインターフェースも併せてご用意ください。尚、環境が異なることにより、思った通りの表示がされない可能性があることにご留意ください。
- ・接続確認、ファイル受付、試写は研究会の開始前(12時00分から12時50分まで)に行います。受付に係がいますので、早めにお越しいただき、コピーと映写確認をお願いします。時間内にファイル受付ができなかった場合、研究会開始後ファイル受付を行いますが、正しく表示されない可能性があることを、ご了承ください。

	201 号室(2F)
13:00	開会の辞
13:05~13:50	ランチョンセミナー
13:51~16:45	一般演題
16:45~16:50	休憩(5 分)
16:50~17:35	イブニングセミナー
17:40	閉会の辞

3. 一般演題座長の皆様へ

- ・担当セッション開始 15 分前までに会場にお越しいただき、受付にお声かけいただきますようお願い申し上げます。

4. 入会をご希望の方は当日受け付けます(会費の納入は振り込み用紙にてお願い致します)。

※ 年会費 勤務医 3,000 円
開業医 5,000 円

事務局：
広島大学原爆放射線医科学研究所
腫瘍外科 内
TEL：082-257-5869 FAX：082-256-7109

13:00 開会の辞 会長 岡田 守人

13:05～13:50 ランチョンセミナー(カリキュラムコード No,46) 座長 岡田 守人
(広島大学放射線医科学研究所 腫瘍外科 教授)
『肺癌治療における免疫チェックポイント阻害剤の役割』
講師 津谷 康大
(広島大学放射線医科学研究所 腫瘍外科 診療講師)
共催:中外製薬株式会社

13:51～14:09 一般演題 1

座長 林 哲太郎
(広島大学大学院 腎泌尿器科科学)

01-1. 当科における悪性腫瘍合併皮膚筋炎の特徴

広島大学病院 リウマチ・膠原病科

小浦智子、吉田雄介、大本卓司、渡邊裕之、杉本智裕、平田信太郎、
杉山英二

01-2. 広島大学泌尿器科での MRI/US 融合画像ガイド下前立腺生検の初期成績

1. 広島大学大学院 医歯薬保健学研究所 腎泌尿器科学
2. 放射線診断学
3. 診療支援部 画像診断部門
4. 霞クリニック

長坂啓司¹、林哲太郎¹、藤井慎介¹、宮本俊輔¹、韓 向鋭¹、岡崎真衣¹、
野村直史¹、山中亮憲¹、関野陽平¹、後藤景介¹、北野弘之¹、稗田圭介¹、
井上省吾¹、亭島 淳¹、松原昭郎¹、本田有紀子²、寺田大晃²、粟井和夫²、
秋田隆司³、北村直幸⁴

01-3. 直腸癌との鑑別が困難であった前立腺癌直腸浸潤の一例

JA 尾道総合病院 外科

廣畑良輔、奥田 浩、志田原幸稔、小野紘輔、安部智之、藤國宣明、
佐々田達成、山木 実、倉吉 学、天野尋暢、中原雅浩、則行敏生

14:09～14:45 一般演題 2

座長 土井 美帆子
(県立広島病院 臨床腫瘍科)

02-1. 卵巣癌術後再発に対する IG-VMAT

広島平和クリニック 高精度放射線治療センター
赤木由紀夫、小山 矩、小野 薫、廣川 裕

- 02-2. 婦人科がんに対するコンパニオン診断薬と当科で施行した MSI 検査の現状
 広島大学大学院医歯薬保健学研究所 産科婦人科学
 古宇家正、榎園優香、菅裕美子、森岡裕彦、寺岡有子、大森由里子、
 定金貴子、野坂 豪、関根仁樹、山崎友美、杉本 潤、占部 智、
 平田英司、工藤美樹
- 02-3. マイクロサテライト不安定性検査陽性(MSI-H)の術後再発卵巣癌に対しペムブロリズマブが奏効した 1 例
 県立広島病院 臨床腫瘍科
 藤井康智、築山尚史、森岡健彦、土井美帆子、篠崎勝則
- 02-4. 進行再発乳癌に対するパルボシクリブの治療経験 ～安全性について～
 広島大学原爆放射線医科学研究所(乳腺外科)腫瘍外科
 木村優里、舛本法生、仁科麻衣、網岡 愛、板垣友子、笹田伸介、
 恵美純子、角舎学行、岡田守人
- 02-5. 原発性 HER2 陽性乳癌に対する術前化学療法としてのペルツズマブ併用療法の有効性と安全性
 広島市立広島市民病院 乳腺外科
 前田礼奈、金 敬徳、上野彩子、伊藤充矢、川崎賢祐、大谷彰一郎
- 02-6. 多発骨転移、胃転移、直腸転移を示した乳房浸潤性小葉癌の 1 例
 県立広島病院 臨床腫瘍科
 藤本 睦、築山尚史、藤井康智、森岡健彦、土井美帆子、篠崎勝則

14:45～15:15 一般演題 3

座長 三村 剛史
 (国立病院機構呉医療センター中国がんセンター呼吸器外科)

- 03-1. 術前 PET 検査で心臓腫瘍が発見された右下葉肺癌の一例
 独立行政法人国立病院機構東広島医療センター(呼吸器外科¹、
 心臓血管外科²、呼吸器内科³、循環器内科⁴)
 上垣内篤¹、原田洋明¹、江村尚悟²、川口健太郎³、前田和樹²、
 西村好史³、對馬 浩⁴、宮崎こずえ³、柴田 諭¹、村上 功³、森田 悟²
- 03-2. 術前早期肺癌が疑われた肺腫瘍に対する区域切除術後に断端遺残疑いに対して追加葉切除を
 施行した 1 症例
 広島市立安佐市民病院 外科・呼吸器外科
 田所和樹、中島匠平、花木英明、向田秀則、新原健介、原 鐵洋、
 山北伊知子、安達智洋、下村 学、青木義朗、中島 亨、加納幹浩、
 徳本憲昭、大石幸一、小橋俊彦、檜原 淳、船越真人、平林直樹
- 03-3. キートルーダを用いた 3 剤併用療法で連続性、同時多発性に免疫関連有害事象が出現した 1 例
 JA 広島総合病院 呼吸器外科
 渡 正伸、熊田高志
- 03-4. 肺原発悪性黒色腫の一切除例
 1. 広島赤十字・原爆病院 臨床研修部
 2. 広島赤十字・原爆病院 外科
 大濱 尚¹、枝川 真²、竹中朋祐²、枝廣圭太郎²、島垣智成²、
 金城 直²、大峰高広²、山口将平²、小西晃造²、前田貴司²、
 筒井信一²、松田裕之²

03-5. 高カルシウム血症を契機に発見された肺扁平上皮癌の1例

国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター

(呼吸器外科¹、呼吸器内科²、病理診断科³)

林野健太¹、三村剛史¹、平井裕也¹、濱田亜理沙²、三登峰代²、
北原良洋²、倉岡和矢³、中野喜久雄²、山下芳典¹

15:15～15:33 一般演題 4

座長 妹尾 直

(広島大学病院 がん化学療法科)

04-1. 下顎歯肉原発神経内分泌癌の脳転移の一例

広島大学病院 脳神経外科

谷口洋樹、高野元気、米澤 潮、田口 慧、山崎文之、栗栖 薫

04-2. 当科でのエピシル®の初期使用経験について

広島大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

古家裕巳、築家伸幸、河野崇志、樽谷貴之、濱本隆夫、上田 勉、
竹野幸夫

04-3. 当院の甲状腺癌に対するI-131療法の実況

JR 広島病院 外科

矢野将嗣、住谷大輔、志々田将幸、大城望史、岡本有三、小野栄治

15:33～16:03 一般演題 5

座長 山内 理海

(広島大学病院 消化器・代謝内科 がん化学療法科)

05-1. 当科における食道小細胞癌14例の治療経験

広島大学原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科

吉川 徹、恵美 学、黒川知彰、伊富貴雄太、浜井洋一、岡田守人

05-2. 切除不能局所進行食道癌に対する根治的放射線療法の実況

広島大学放射線治療科

越智雅則、西淵いくの、村上祐司、亀岡 翼、今野伸樹、竹内有樹、
高橋一平、木村智樹、永田 靖

05-3. 肝細胞癌・孤立性蝶形骨洞転移に対してSRTを実施した1例

1. 広島平和クリニック・高精度放射線治療センター、

2. 県立広島病院・脳外科

赤木由紀夫¹、小野 薫¹、廣川 裕¹、籬 拓郎²、富永 篤²

05-4. NET 肝転移と併発し鑑別困難であったIgG4関連肝炎症性偽腫瘍の1例

広島大学病院 消化器・移植外科

安藤邦彦、浜岡道則、小林剛、井手健太郎、大平真裕、田原裕之、
黒田慎太郎、森本博司、大段秀樹

05-5. 進行肝細胞癌に対するレンバチニブの市販後治療成績

～広島肝臓 study group における多施設共同研究～

1. 広島大学病院 消化器・代謝内科
2. 広島赤十字・原爆病院 消化器内科
3. JA 広島総合病院 消化器内科
4. 広島市立安佐市民病院 消化器内科
5. 中国労災病院 消化器内科
6. 東広島医療センター 消化器内科

安藤雄和¹、河岡友和¹、末廣洋介¹、小坂祐未¹、山岡賢治¹、内川慎介¹、盛生 慶¹、山内理海¹、今村道雄¹、相方 浩¹、茶山一彰¹、福原崇之²、森 奈美²、高木慎太郎²、辻 恵二²、野中裕広³、兵庫秀幸³、相坂康之³、榎木慶一⁴、本田洋士⁴、守屋 尚⁵、苗代典昭⁶

16:03～16:45 一般演題 6

座長 清水 亘

(国立病院機構呉医療センター中国がんセンター 外科・感染症科)

06-1. 胃癌に対するロボット支援下噴門側胃切除術と観音開き法再建の導入と実際

広島市立広島市民病院 外科

石田道拓、久保田哲史、谷 悠真、矢野琢也、佐藤太祐、丁田泰宏、吉満政義、中野敢友、原野雅生、松川啓義、井谷史嗣、塩崎 滋、岡島正純

06-2. 当院におけるロボット支援腹腔鏡下胃癌手術

広島市立安佐市民病院 外科

徳本憲昭、加納幹浩、檜原 淳、中島匠平、田所和樹、新原健介、原 鐵洋、山北伊知子、安達智洋、花木英明、下村 学、青木義朗、中島 亨、大石幸一、小橋俊彦、船越真人、向田秀則、平林直樹

06-3. 小腸 GIST 術後の肝転移、肺転移、副腎転移再発に対して化学療法と外科治療により長期生存を得られている 1 例

広島記念病院 外科

白川賢司、坂下吉弘、平原 慧、久原佑太、土井寛文、豊田和宏、矢野雷太、小林弘典、橋本泰司、横山雄二郎、二宮基樹、宮本勝也

06-4. 大腸癌に準じた化学療法で病勢コントロールが得られている空腸癌の一例

JA 尾道総合病院

志田原幸稔、奥田 浩、廣畑良輔、小野紘輔、平田文宏、安部智之、藤國宣明、佐々田達成、山木 実、倉吉 学、天野尋暢、則行敏生、中原雅浩

06-5. BRAF 変異陽性大腸癌の臨床病理学的特徴

1. 広島大学病院 消化器・移植外科
2. 広島大学 医学部附属医学教育センター

好中久晶¹、恵木浩之¹、高倉有二¹、河内雅年¹、田口和浩¹、寿美裕介¹、中島一記¹、赤羽慎太郎¹、佐藤幸毅¹、服部 稔²、大段秀樹¹

06-6. 早期直腸癌に対して EMR 施行 5 年後に局所再発を来した 1 例

独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 外科

松原一樹、清水洋祐、池尻はるか、森内俊行、久保田晴菜、田原俊哉、河毛利顕、佐田春樹、羽田野直人、田澤宏文、清水 亘、鈴木崇久、石山宏平、尾上隆司、首藤 毅、田代裕尊

06-7. 術前診断に難渋した潰瘍性大腸炎関連直腸癌の1例

広島大学大学院医系科学研究科 外科学

吉村幸祐、上神慎之介、渡谷祐介、嶋田徳光、埜越宏幸、黒尾優太、
北川浩樹、大毛宏喜

休憩(5分)

16:50～17:35 イブニングセミナー(カリキュラムコード No,54) 座長 檜原 淳
(広島市立安佐市民病院 消化器外科 外科主任部長)

『大腸癌の最新手術手技と化学療法』

講師 金澤 旭宣

(島根県立中央病院 外科・消化器外科部長 臨床ゲノム医療推進室長)

共催: 日本イーライリリー株式会社

17:35 閉会の辞 広島大学原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 准教授 宮田 義浩

17:40 閉会